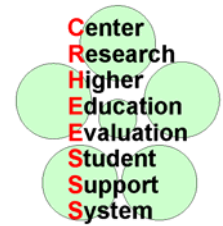


週刊センターニュース No.41



第 41 号 (2004 年 1 2 月 21 日) 毎週月曜日発行
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

新春の共同学習会のお知らせ

2005年最初の共同学習会を次のように開催します。新しい年も、当センターの共同学習会を、教育改善のためにお役立てください。

第53回 日時：1月6日(木) 16:20~17:50

場所：角間キャンパス総合教育棟2階会議室

テーマ：「学生のボランティア活動への支援について(仮題)」

担当：青野透(大学教育開発・支援センター) 安田純子(学生部課外活動支援課)

趣旨：本学は平成16年度の年度計画に、ボランティア相談窓口の設置を謳っており、年度内の設置に向けて準備が進められている。この度、大学における学生ボランティア活動のあり方を検討するために、平成16年12月17日開催の「平成16年度学生ボランティア活動支援・促進のための連絡協議の集い」(於：東京国際交流館)に本学から2名が参加した。国公私の大学・短大におけるボランティアセンターの教職員を中心として、集まった学生を含む200名以上が、各分科会等において活発な議論を交わした。先行する他の高等教育機関から学ぶことが多くあり、それらの成果を本共同学習会において報告する。ボランティア活動、課外活動、学生支援、さらには広い意味での学生教育に関心のある方々と認識を共有し、平成17年を本学における「ボランティア元年」と位置づけるきっかけとしたい。(青野)

第54回 日時：1月13日(木) 16:20~17:50

場所：角間キャンパス総合教育棟2階会議室

テーマ：「共通教育カリキュラム改革について-その1-(仮題)」

担当：古畑徹(文学部、共通教育部会長)

第55回 日時：1月20日(木) 16:20~17:50

場所：角間キャンパス総合教育棟2階会議室

テーマ：研究会「新・学部教育コンセプトの開発と実際」参加報告

担当：西山宣昭(大学教育開発・支援センター)

趣旨：12月13日、地域科学研究会・高等教育情報センター主催の研究会に参加したので報告する。研究会での3名の報告者と題目は以下の通り。(西山)

丹保憲仁(放送大学学長)「大学コンセプトの再構築」

「大学の類型」「教育プログラム」とその評価

芝井敬司(関西大学文学部長)「8学科から総合人文学科統合の理念と展開」

臼井嘉一(福島大学学長)「3学部2学科6課程体制から2学群4学類12学系体制への全学再編」

本学工学部、教育学部のFD活動について

当センターの重要な活動の一つとして位置づけているのが、各学部のFD活動の支援である。現在、本学のFD活動についての情報収集のため、各学部のFD委員会にお願いして、活動状況についてお話を伺っている。また、今年度の理学部、法学部のFD関連の講演会、研修会にも参加させていただいた。

ここでは、共同学習会でお話を伺った工学部、教育学部のFD活動について紹介したい。10月13日、工学部の山田実FD委員長にお話を伺った。工学部では平成10年10月に「新しい工学教育を考える検討委員会」が発足し、本学独自の教育改革策について検討された。その結果、課題探求型あるいは実体験型教育を目指す創成科目の導入、導入科目の充実、学生による授業アンケートや達成度評価に基づく教育改善、カリキュラムや授業方法の改善、FD研修活動の継続的实施など、「工学教育改善に関する提言」がまとめられた。これらの改革案は、平成13年度に発足した工学部FD委員会によって現在までに実行に移されている。平成11年度に始まったFDシンポジウムは昨年度で5回目を数え、2回目以降は、原則全員参加で年度ごとの教育改善活動について教員全員での議論を重視した内容となっている。達成度評価では、卒業研究による評価法について検討されているばかりでなく、卒業生に対するアンケートも実施され詳細な分析がなされている。その他、WEB版授業支援システムの開発や優秀教員顕彰など様々な取り組みがなされ、すでに継続的な教育改善活動期を迎えている。

教育学部のFD活動については、12月6日、山本一FD委員長にお話を伺った。教育学部では、平成13年度より7名のFD委員を中心にカリキュラムや教育方法全般について検討され、調査研究が始まり、現在までFD研修会が実施されている。教育学部においてはFD活動の一環として公開授業が行われている。全教員が公開授業を一度は経験するとの方針により、今年度中にほぼ全員の公開授業が終了する。各教員は、公開授業の実施計画をホームページやメーリングリストで周知し、公開授業後には学生アンケートの結果を踏まえた報告書を提出する。公開授業によって学生とともに教員の参観者の意見を同時に得ることができ、教育改善を検討する上できわめて有益な情報が得られるものと思われる。

薬学部、文学部のFD活動についてもセンターニュースですでに紹介させていただいた。今後、できるだけ早急に学内のFD活動状況を把握するとともに、他大学のFD活動の調査研究や講演会、セミナーによる事例紹介を通して、各部局のFD活動に沿った支援ができるよう努力していきたい。
(文責 西山)

センター来訪者記録

2004.12.20 九州大学21世紀プログラムより副島教授他3名の来訪。当センターの活動状況、事務体制について説明。九州大学の21世紀プログラムの最新情報について収集。